



## 東陽小3年 高田征希さん ゆうちょアイデア貯金箱コンクールで ゆうちょ銀行賞を受賞!



お母さんとおばあちゃんにアドバースをもらい1カ月かけて作った超大作。主な材料は紙粘土。車が動くパーが開いたり、お金を入れると魚が動いたりするなど工夫がいっぱい!



第45回ゆうちょアイデア貯金箱コンクールで、東陽小3年の高田征希さんがゆうちょ銀行賞を受賞しました。同コンクールには、全国の小学校から約30万点の出品があり、ゆうちょ銀行賞は文部科学大臣賞に次ぐ上から2番目の賞です。

家族との遠出が好きな高田さんは、目的地に向かうときに利用する高速道路の出口で、通行パーが開く瞬間に、どんな楽しいことが待っているんだろうとワクワクするそうです。

作品のタイトルは『ようこそ那須町へちよ金ばこ』。「那須町に来る人にもこのワクワク感を味わってほしい。コロナで大変だけど那須町も頑張ってほしい」と作品に込めた想いを教えてくれました。

### 第3回プレゼンフェスティバルin那須を開催 熱い思いを伝え、那須町をより良い町に!

2月6日、第3回プレゼンフェスティバルin那須が開催され、小・中・高・大学生など24組77人が参加しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場では行わず、事前に各組がプレゼン動画を撮影し、開催日にYouTubeでVTR配信しました。

「那須町」を題に、各組が自分たちの考えや実践したこと、自然環境や社会問題などを、作成した資料や制作した画像を使い、熱いプレゼンを繰り広げました。



収録のようす (那須中央中)

自転車はエコで、適度な運動量を確保できるなどのメリットや、見つけた農道のサイクリングコースを紹介した、那須中央中2年の高野純春さんは、「多くの人が使

用でき、身近にある『自転車』をテーマにしました。那須町がもっと自転車で優しい町になってほしいです」と話しました。

また、「自立と自律」をテーマに、自分たちで考え、行動することの重要性を発表した、高久小6年の小林柚乃さんは、「自信が持てないことが私たちの課題で、自立と自律が必要だと思いました。実際に宿題をなくしたことや、運動会を自分たちで作上げたことが、自立と自律につながったので、みんなに伝えたいかったです。プレゼンフェスティバルに参加しました。スライドに写す文章を短くしたり、クラスのみんなにアンケートしたことをグラフにしたり等、見やすいように工夫しました」と発表を楽しんだようでした。

開催日当日、土曜授業で、プレゼンフェスティバルを鑑賞した那須高原小6年の荻田大輝さんは、「発表者が笑顔で良かった。クイズもあって楽しかった。知らないことがたくさんあり、勉強になりました」と、発表者の思いを受け止めていました。

最後に、コメンテーターを務めた町教育委員会の菊地厚子教育委員が、「中身の濃い作品ばかりで、発表者の深い洞察力が見られました。自分が何に興味や疑問を持つか、それが個性だと思います。また、没頭できるものを見つけたとき、その道のエキスパートになります。未来社会で、子どもたちの柔軟な発想、ユニークなアイデア、行動力が存分に発揮できることを期待します」と講評しました。



鑑賞のようす (那須高原小・高久小)



2月間限定配信  
<https://youtu.be/v4TqyUo7ywE>

※3月13日(土)、14日(日)に再配信します。ぜひご覧ください。